

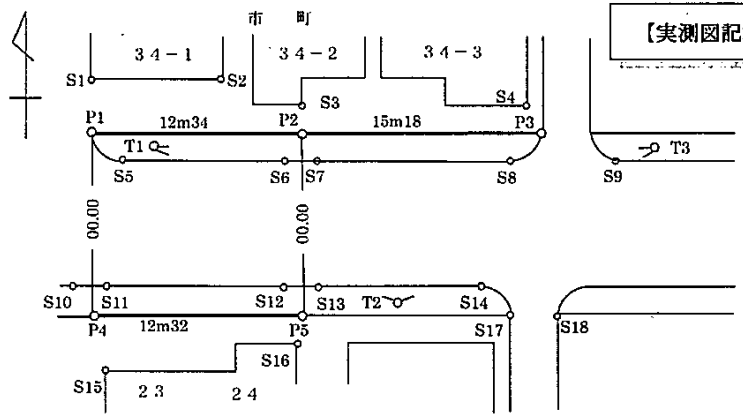
実測図作成例

- ① **P.n** (境界点)・**S.n** (引照点)・**T.n** (機械点) で作成してください。
- ② 地番は**申請地のみ**記入してください。
- ③ 縮尺は**1/250**で作成してください。
- ④ 座標は何を参考にしたのかを**備考欄**に記入してください。(市石標など)
- ⑤ 申請地前面部分だけでなく、申請地が属する街区と当該道路を挟んだ対面の街区の両端に S 点を取ってください。そして、申請地部分の P 点はその両端を結んだ線上に乗るようにしてください。
- ⑥ 原則として認定幅員を確保してください。
- ⑦ 現況の形状が明確に把握できるように周辺部を含め、広範囲に道路、水路、境界標識、塀及び家屋等の地形地物をできるだけ明記してください。
- ⑧ P.n (境界点) は現況の**道路構造物 (U字溝等) との距離を詳細図**で図示してください。また、引照点が図面上わかりにくい場合も同様に記載してください。

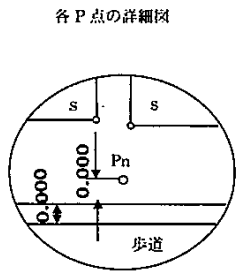
別紙【土地境界図作成例】

符号	X	Y	備考
P 1			市 石
P 2			市 旗
P 3			市プレート
P 4			みかげ石
S 1			家屋角
S 2			ブロッケン
~~~~~			
T 1			鎮
T 2			鎮
T 3			鎮

(注) ※ 市標・プレートを記入する。  
 ※ 座標欄の下に、既に確定済の境界点については「○」点は「○年○号確定済点」と記入する。



【実測図記載例】



作成者		印
測年	平成	年 月 日

